

今ある窓の内側に取り付け断熱性を高める

リフォーム用樹脂窓の新商品「ウチリモ 内窓」引違い窓を発売

取り付け部が最小 47mmでも設置可能に。ふかし枠レスによる対応力向上でストック住宅の省エネ化を推進

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、取り付け部の見込み寸法が最小 47mm（※1）あれば設置可能な樹脂製内窓「ウチリモ 内窓」引違い窓を 7 月 7 日から全国発売します。内窓の取り付け寸法を従来品より 23mm 小さくすることで、取り付け対応力の向上による施工時間の短縮と意匠性の向上で、ストック住宅の省エネ化を促進します。



2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、国土交通省・経済産業省・環境省の連携によりワンストップで利用できる住宅の省エネ化補助事業「住宅省エネキャンペーン」が 2023 年からスタートしました。その中の「先進的窓リノベ事業」はストック住宅の省エネ化を強力に推進することを目的とし、窓やドアの断熱化リフォームに対し高い補助額が設定されたこともあり、「マドリモ 内窓 プラマード U」の販売数量は、補助事業開始前の 2022 年度と比べ、2023 年度は約 2.4 倍、2024 年度は約 2.5 倍と大きく推移しています。“窓の断熱化リフォーム”の認知が拡大し、幅広い世代の多くのお客様に補助事業を利用した窓リフォームを実施していただきました。このように“窓の断熱化リフォーム”の中でも手軽に取り付けでき、高い断熱性能を発揮できる『内窓』の市場が加速する一方で、内窓を取り付けたくても築年数が古い木造住宅などでは、窓額縁の見込み寸法が小さくふかし枠が必要になることで、施工性や意匠性を理由に内窓設置を断念するケースもありました。

こうした課題を解決するために、引違い窓の見込みを薄くし、さらに枠を室内側に持ち出す『枠持ち出し納まり』により、窓額縁の取り付け寸法が最小 47mm（※1）あればふかし枠が無くても取り付け可能な新しい内窓「ウチリモ 内窓」を発売します。“かんたん”な施工性はもちろんのこと、ふかし枠と補強材を使わないことで意匠性が向上し、費用も抑えることができる商品です。窓の断熱性能も向上させ、Low-E 複層ガラスのアルゴンガス無しの仕様で熱貫流率 U_w 値 1.5 $W/m^2 \cdot K$ （※2）以下を実現し、「先進的窓リノベ事業」の内窓設置における“S グレード（※3）”の対象製品として登録される予定です。今回、新商品発売とともにシリーズ名を「マドリモ 内窓 プラマード U」から「ウチリモ 内窓」に変更します。内開き窓や FIX 窓など従来品もシリーズ名を変更し「ウチリモ プラマード U」として販売を継続します。

YKK AP は断熱性能の高い樹脂窓をストック住宅にも広く普及させ、2030 年度の家庭部門からの CO₂ 排出量 7 割削減（2013 年度比）、そして 2050 年カーボンニュートラルの実現に向け貢献してまいります。

<主な商品特長>

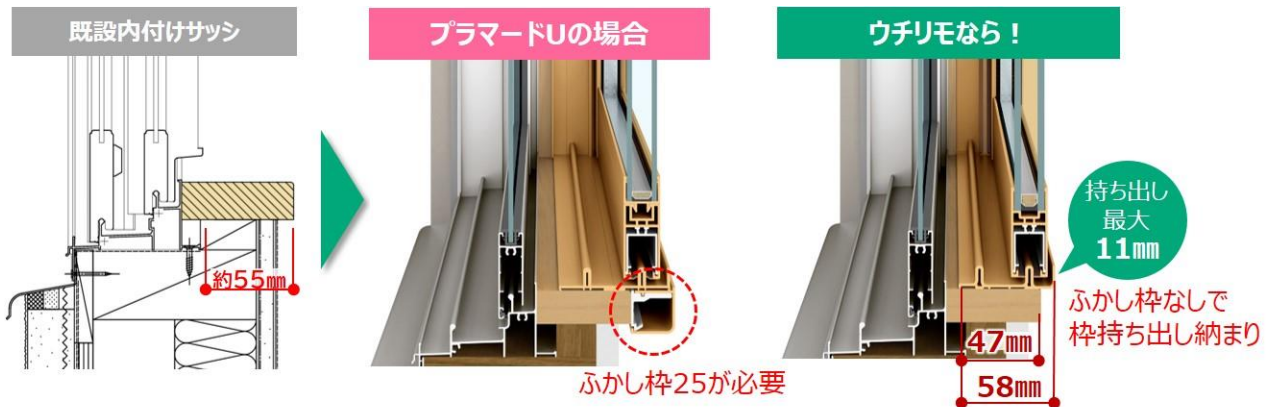
- 枠のスリム化と『枠持ち出し納まり』で 47mm の取り付け寸法を実現
- 操作時の安全性に配慮した『ストッパー付安全引手』を標準採用
- 内窓に新たにブラック色を追加

【商品特長】

■ 枠のスリム化と『枠持ち出し納まり』で 47mm の取り付け寸法を実現

今までの「マドリモ 内窓 プラマード U」は取り付けに必要な窓額縁の見込み寸法は 70mm 以上必要で、窓額縁の見込み寸法が足りない場合はふかし枠が必要でした。日本のストック住宅の約半数は窓額縁の見込み寸法が 70mm 以下のためふかし枠が必要な住宅（※4）ですが、実際のふかし枠取り付け率はわずか 9.4%（※5）に留まっており、ふかし枠が必要な現場では内窓の設置を諦めている方が多いと推測されます。

そこで「ウチリモ 内窓」はガラス総厚 18mm の複層ガラスを搭載しながら、下枠の見込み寸法を薄く 58mm を実現。さらに窓額縁から最大 11mm 室内側に枠を持ち出すことによって窓額縁の取り付け寸法が最小 47mm あれば設置が可能になりました。今まで内窓設置の際にふかし枠が必要だった築年数が古い木造住宅でも、ふかし枠無しで約 75%の窓に設置できるようになります。



■ 操作時の安全性に配慮した『ストッパー付安全引手』を標準採用

内窓を設置した場合、外窓の施錠をする際、外窓のクレセントを操作するために、内窓の外障子（内観左側の障子）を全開にする必要があります。その際、従来品の引手では指を挟む危険があったため、『ストッパー付安全引手』（日本特許出願中）を開発し、標準採用しました。「ウチリモ 内窓」の外障子を内障子側に引き込む際、引手に指をかけるとストッパーが飛び出し、その状態で障子を開けると指を挟む手前でストッパーが内障子にぶつかりストップ。引手から指を離すとストッパーが戻り、その後全開状態にすることで指はさみを防止する新しい引手です。



■ 内窓に新たにブラック色を追加

新築時にブラック色のサッシが主流だった築 25 年前後の住宅がリフォーム世代となりつつあるため、既設の外窓にカラーを合わせるニーズに対応し『ブラック色』を追加します。ほかにも近年増加しているブラック色をポイント使いするインテリアやリノベーション物件にも対応します。



■商品概要

商品名	ウチリモ 内窓
窓種	引違い窓 居室仕様 2枚建/偏芯2枚建/3枚建/4枚建/偏芯4枚建
カラーバリエーション	クリア、ナチュラル、ミディアムオーク、ダークブラウン、ホワイト、ブラック
熱貫流率(※2)	1.5W/(㎡・K)以下：Sグレード対象予定
参考価格(※6)	97,800円 引違い窓 2枚建 W:1,700mm×H:1,200mm ガラス仕様:Low-E 複層ガラス アルゴンガス無し アルミスペーサー
販売地域	全国
全国発売日	2025年7月7日
売上目標金額	2025年度：100億円

※1:内窓の開閉に支障をきたす部分(室内側に出っ張る既設窓の召し合わせ枠等)は除いた見込み寸法。

※2:JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)によって計算された代表試験体の熱貫流率です。条件:Low-E 複層ガラス ニュートラル ガス無・アルミスペーサー3mm+A12mm+3mm

※3:改修後の窓の性能区分は「住宅省エネ2025キャンペーン」における「先進的窓リノベ事業」の情報です。「先進的窓リノベ事業」の後継事業である「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業」のより詳細な情報については、「住宅省エネ2025キャンペーン」サイト内の最新情報や、事業概要をご確認ください。尚、改修後の開口部の熱貫流率(Uw値)が一定の基準値以下となることが条件となるため、ガラス種・開閉形式・デザイン・工法・仕様によって補助対象とならない場合があります。

※4:社内調査 戸建住宅額縁見込みアンケート(ジャストシステム社 Fastask 調査)

※5:YKK AP 2022年度のふかし枠出荷構成比より(2025年3月27日時点。YKK AP 調べ)

※6:参考価格には消費税・現場搬入費・施工費等は含まれていません。

<参考>「先進的窓リノベ 2025 事業」の補助金について

環境省による「先進的窓リノベ 2025 事業」は、断熱窓・ドアへの改修を促進し既存住宅の省エネ化を促すことで、家庭からのCO₂排出削減を目的とした補助事業です。窓・ドアの断熱化リフォームに特化し、1戸あたり最大200万円の高い補助額が支給されます。対象工事は「内窓設置」「外窓交換(カバー工法)」「外窓交換(はつり工法)」「ガラス交換」「ドア交換(カバー工法)」「ドア交換(はつり工法)」の6つで、それぞれの工事で採用する商品の大きさや性能値で補助金額が設定されています。

YKK AP ウェブサイト内「先進的窓リノベ2025事業」特設サイト

https://www.ykkap.co.jp/consumer_business/satellite/law/subsidy2025/senshintekimado/

「住宅省エネ2025キャンペーン」事務局ホームページ <https://jutaku-shoene2025.mlit.go.jp/>

「先進的窓リノベ 2025 事業」事務局ホームページ <https://window-renovation2025.env.go.jp/>